

NIMS インターンシップ 制度

SHARPEN Your Performance @NIMS

<https://www.nims.go.jp/hr-development/interhip.html>

NIMSで世界レベルの
材料研究にふれてみませんか？

NIMS インターンシップ 制度とは

国立研究開発法人物質・材料研究機構 (NIMS) は、国内で唯一、物質・材料科学 (Materials Science) の研究を専門にしている公的研究機関です。これまで、世界を変える物質・材料を数多くつくり出してきました。金属、セラミックス、ポリマー、光などさまざまな物質・材料の最先端研究を通じて、環境やエネルギー、医療、インフラなどの問題を解決し、人類の明日に貢献することがNIMSのミッションです。

また、世界有数の研究装置群を有し、国内他機関との施設共用を推進するとともに、世界中から多数の研究者・学生を受け入れ、研究者・技術者の養成を行っています。その一環としてNIMSインターンシップ制度を実施し、国内外の大学及び大学院あるいは国内の高等専門学校に在籍中の学生をインターンシップ生として受け入れています。参加者はNIMSで最先端の研究活動を体験することができます。優秀な学生には、滞在費のサポートを行っています。

NIMSにおいて、世界有数の研究装置群を使用してみたい、最先端研究プロジェクトに参加してみたい、あるいは、世界各国から集った研究者と交流したい、という学生の皆様のご応募を心よりお待ちしております。



参加のメリット

最先端の研究活動体験 ▶ 将来の考察に役立つ

NIMS内で開催される
各種研究会*の聴講 ▶ プレゼン能力
トークスキルの向上

※非公開もあり

高い意欲をもつ学生との交流 ▶ 幅広い人的ネットワークの構築
コミュニケーション能力の向上

概要

第1次公募

世界中からNIMSへ

参加対象者	国内外の大学、大学院あるいは国内の高等専門学校（本科4年次以上または専攻科）に在籍中の学生
公募期間	12月下旬～2月上旬
受入日数	連続した90日以内
滞在費のサポート	サポート内容：日当（2,560円/日）及びつくばでの宿泊代（上限あり）サポート日数：最大日 サポート対象期間：4月1日～翌年3月31日
修了証	インターンシップ終了後、修了証を交付

第2次公募

日本全国からNIMSへ

参加対象者	国内外の大学、大学院あるいは国内の高等専門学校（本科4年次以上または専攻科）に在籍中の学生
公募期間	4月上旬～5月上旬
受入日数	連続した30日以内
滞在費のサポート	サポート内容：日当（2,560円/日）及びつくばでの宿泊代（上限あり） サポート日数：最大30日 サポート対象期間：7月1日～翌年3月31日
修了証	インターンシップ終了後、修了証を交付



申請方法



研究内容だけでなく、グループや研究室のウェブサイトも参考に！

現在及び過去の学生受入状況を掲載している研究室もあります。



NIMS研究者が受け入れられる学生の人数には限りがあるので早めにコンタクトを！公募前のコンタクトもOKです！

▶ Step1 興味のある研究分野の研究室・研究者を探そう！

研究室・研究者の探索方法

- NIMS公式ウェブサイト <https://www.nims.go.jp>
- NIMS研究者総覧「SAMURAI」 <https://samurai.nims.go.jp/>
- NIMS大学院プログラムのウェブサイト <https://www.go.jp/students/>
- 一般公開への参加
- 大学・高等専門学校の指導教員からの紹介

▶ Step2 NIMS研究者にメールで直接コンタクト！

▶ Step3 申請に必要な応募書類をメールまたは郵便でNIMS研究者に送る。

応募書類

- NIMSインターンシップ申込書^{※1}
- 履歴書
- 在学証明書
- 成績証明書^{※2}

※1 NIMS公式ウェブサイトからダウンロード <https://www.nims.go.jp/hr-development/internship.html>

※2 大学院に在学の方は学士課程から現在までの成績証明書をご提出ください。

NIMS研究者は、応募書類を受領後、学生の指導教員に推薦状を依頼し、学生及び指導教員と連絡を取りつつ受入を検討します。受入承諾後、NIMS研究者から事務局（NIMS 学術連携室・大学院係）に申請します。

申請から受入までの流れ

スケジュール

2024年度については、申請受付から審査結果の通知まで1ヶ月～1ヶ月半を予定しています。

申請受付



受入学生決定
NIMS研究者から
審査結果を通知



研修内容、期間を
NIMS研究者と相談



インターンシップの
実施

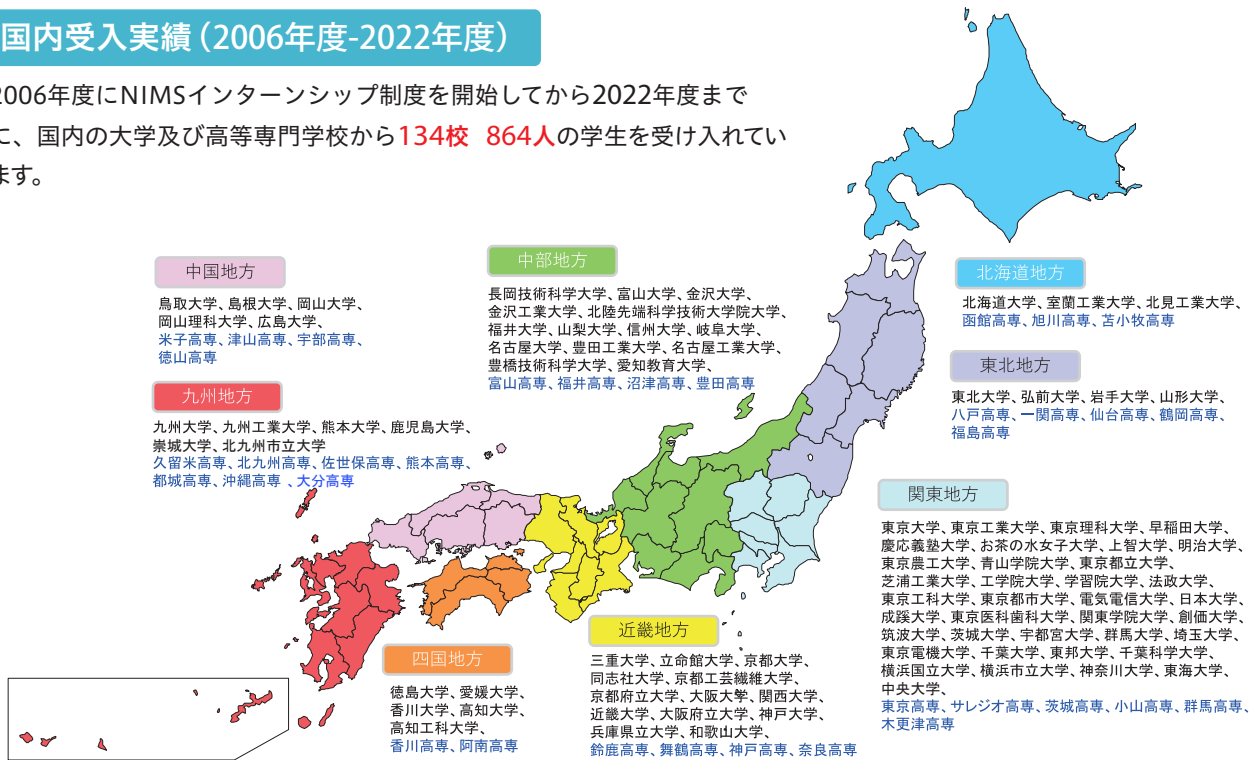
留意事項

- 本制度は、皆様に100%のインターンシップ受入/滞在費サポートをお約束するものではありません。
- 担当事務局では、受入研究者との仲介はいたしません。
- 日本学術振興協会の特別研究員を兼務するなど他機関からのサポートを受けている場合は、NIMSから滞在費をサポートすることができない場合があります。
- インターンシップ開始前に公益財団法人日本国際教育支援協会の学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険またはこれと同等の保険への加入が必要です。
- 本制度は職員採用とは関係ありません。

NIMSインターンシップ制度 学生受入実績

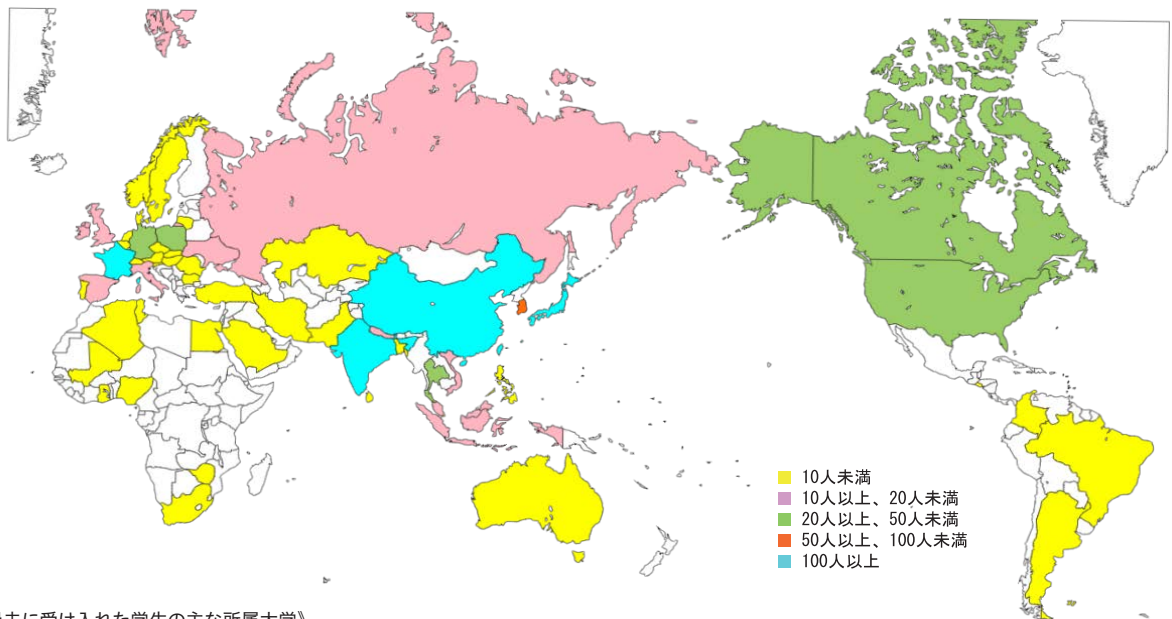
国内受入実績 (2006年度-2022年度)

2006年度にNIMSインターンシップ制度を開始してから2022年度までに、国内の大学及び高等専門学校から**134校 864人**の学生を受け入れています。



国籍別受入実績 (2006年度-2022年度)

2006年度から2022年度までに**58カ国 1,916人**の優秀な学生を世界中から受け入れています。

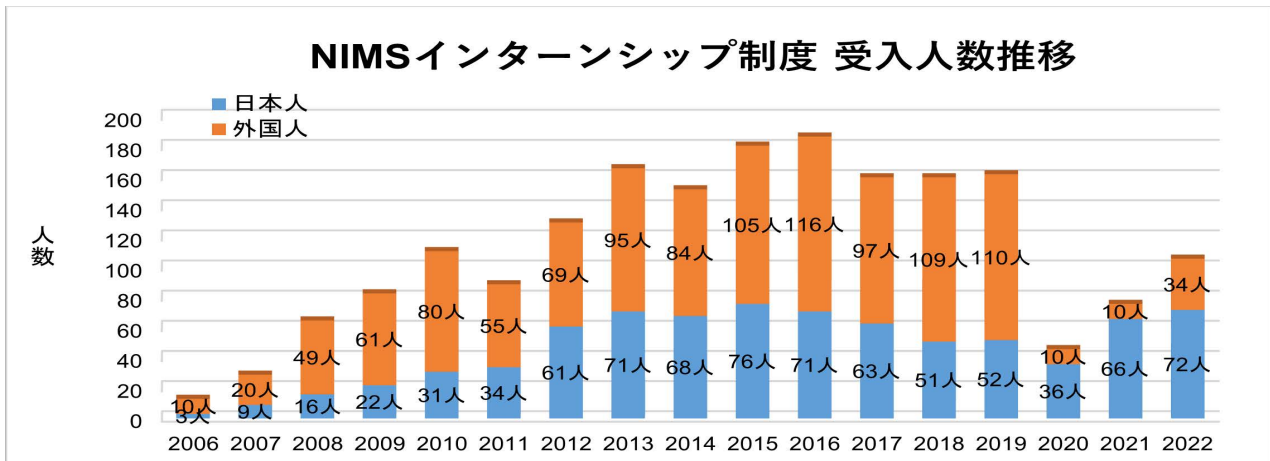


《過去に受け入れた学生の主な所属大学》

オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、デルフト工科大学、ルーヴェン・カトリック大学、ソルボンヌ大学、グルノーブル・アルプ大学、アーヘン工科大学、モスクワ大学、ジョンズ・ホプキンス大学、カリフォルニア大学 (ロサンゼルス校・バークレー校)、ノースウェスタン大学、マギル大学、ブリティッシュ・コロンビア大学、インド工科大学、北京大学、清華大学、国立台湾大学、ソウル大学、南洋理工大

インターンシップ生 受入人数推移

※私費によるプログラム参加者も含む



インターンシップ生の声

● 博士課程2年生

私は現在博士課程2年で、将来は研究職に就きたいと思っています。そのうえで国研での勤務がどのようなものか、働きがいはいかという疑問がありました。そのためNIMSでの研究の雰囲気を感じ、将来のキャリア選択に生かしたいと思い本研修に応募しました。実習では、幸運にも現在自分が研究している物質を最先端の走査型透過電子顕微鏡で観察する機会に恵まれました。周囲の研究者やスタッフの方々の温かいご支援によって研究テーマに対する重要な知見が得られました。

グループのみならずには滞在中、心温かく接していただき、研究の合間や昼休みには、スタッフの方々にご飯に誘っていただき、研究生活での経験談など、学生の私は知ることができない貴重なお話を伺うことができました。また、滞在中の宿の手配や移動に使用する自転車など身の回りに関する配慮もいただきました。

本インターンシップを通して、これまで知りえなかった研究者生活の一端を体感することができました。ぜひ研究室の後輩などに勧めたいと思います。

● 学部3年生

僕はまだ学部生で実験や研究をしたことがありませんでした。しかし今回、テーマ決めから、実験、データ整理、プレゼン発表までさせていただき、とても貴重な経験になりました。具体的には、まず研究のおもしろさを感じることができました。また、自分の発見をほかの人に伝えることがいかに重要で難しいかも知ることができました。そしてなにより自分の興味のある分野の最先端の研究をしている研究者の方々とお話しできたこと、その研究内容を間近で見られたことはとても大きな成果であったと考えます。

専門分野でなく、そして研究のノウハウも知らなかったのですが丁寧に教えていただき、とても有意義な時間になりました。

NIMSのような大きな研究所で実際にその設備を使用させていただきながら研究を体験することができとてもおもしろかったです。学部生のうちにこのような貴重な体験ができ大変幸せであったと感じています。話を聞くだけでは分からない施設の雰囲気や環境などを実感することができました。将来、NIMSに戻ってきてまた研究したいと思いました。短い期間でしたがとても楽しかったです。

● 高専 専攻科1年生

今回のインターンシップでは自分の研究分野とは少し異なった研究を行ったので広い知見を得ることができ、いい経験をさせていただきました。また、研究も学校では行えないようなことを体験できて多くのことを学ぶことができ、楽しかったです。研究以外でも外国の方が多くいたために日本語ではなく英語でコミュニケーションをとらなければならないタイミングがいくつかあり、貴重な体験をすることができたと思います。これらの経験を今後の研究や生活に生かしていきたいと考えております。



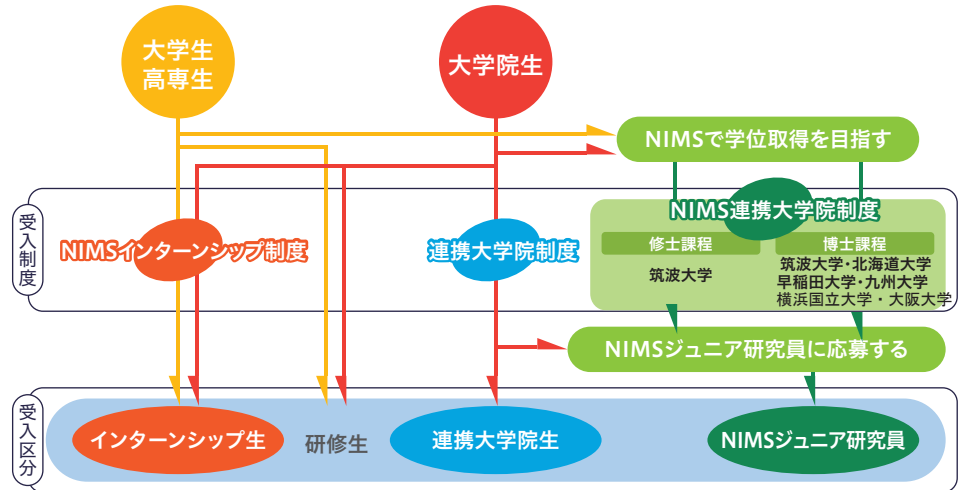
人材育成

NIMS大学院プログラム

NIMSの主な学生受入制度

NIMSでは、NIMSインターンシップ制度の他にも様々な制度で学生の受入を行っています。

学生受入制度フローチャート



各制度の概要

— 国内外の学生がNIMSで学ぶ第1歩 —

NIMSインターンシップ制度

NIMS研究者の指導の下、最先端の設備を使用し研究活動を体験することができます。

- ◆ 資格：国内外の大学、大学院あるいは国内の高等専門学校(本科4年次以上または専攻科)に在籍中の学生でNIMSの審査に合格した者
- ◆ 期間：連続した90日以内 ◆ サポート：日当(2,560円/日)及びつくばでの宿泊代(上限あり)

— 大学院生活の一部をNIMSで学ぶ従来型 —

連携大学院制度

NIMS研究者が連携協定締結大学院より学生指導の委嘱を受け、NIMSの各研究拠点における最先端の研究を通して、大学院生の指導を行います。

- ◆ 資格：NIMSと連携大学院協定を締結した機関に所属している大学院生
- ◆ 期間：NIMS研究者と学生の相談による ◆ サポート：なし

国際連携大学院制度

NIMS研究者が海外の連携協定締結大学院から博士後期課程の学生を受け入れ、NIMSの各研究拠点における最先端の研究を通して、研究指導を行います。

- ◆ 資格：NIMSと国際連携大学院協定を締結した機関に所属し、NIMSの審査に合格した大学院生
申請には大学指導教官による推薦が必要
- ◆ 期間：6ヶ月から12ヶ月 ◆ サポート：協定書に基づく支援(日当、宿泊代等)

— 学位取得までをNIMS研究者が一貫して指導する発展型 —

NIMS連携大学院制度

NIMSの第一線の研究者が各大学(筑波大学・北海道大学・早稲田大学・九州大学・横浜国立大学・大阪大学)の教員となり、学生の教育研究指導を行います。

- ◆ 資格：NIMS連携大学院の各専攻の入学試験に合格した者 ◆ 期間：入学から卒業まで
- ◆ サポート：NIMSジュニア研究員採用試験に合格した場合、NIMSジュニア研究員として雇用

NIMSジュニア研究員制度

連携大学院協定を結ぶ大学院の学生のうち、特に優れた者をNIMSで雇用し、研究業務への貢献に対して賃金を支給します。

- ◆ 資格：連携大学院の大学院生又は連携大学院への進学を予定する者で、NIMSジュニア研究員採用試験に合格した者
- ◆ サポート：博士課程14日/月、修士課11日/月(上限を博士は3年/修士は2年とし、年度毎に更新審査あり)

1 STAGE

2 STAGE

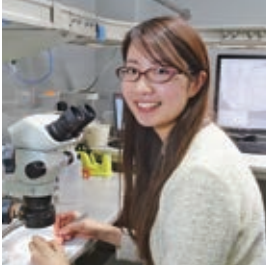
3 STAGE

キャリアパス事例

NIMS大学院プログラム

人材育成

杉浦 栞理 (東北大学 金属材料研究所 低温電子物性学研究部門 助教)



STEP1
NIMSインターンシップ生

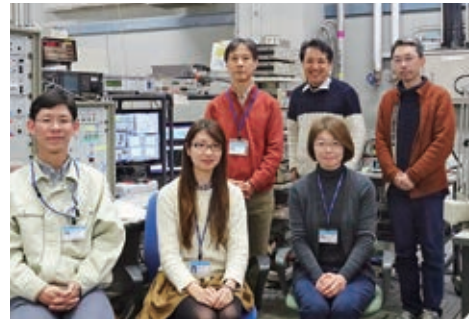
STEP2
NIMS連携大学院
NIMSジュニア研究員

STEP3
NIMSポスドク研究員

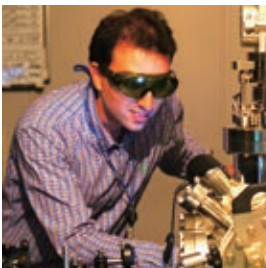
実験室見学の際にNIMSインターンシップのことを教えていただいたのが、制度を利用するきっかけでした。この制度の魅力はなんといっても「世界の第一線で活躍する研究者と共に、最先端の研究に関われる」ことです。この経験があったことで、NIMS連携大学院制度を利用して進学し、NIMSで研究をしながら学位取得を目指す決意をすることができました。

NIMSポスドクを経た後、現在は東北大学金属材料研究所助教として有機伝導体の極低温・強磁場（ -20 mK, -20 T）下における電子状態を研究しています。学生たちと意見を出し合いながら日々実験を行っていますが、今の私の研究スタイルはNIMSという大学とは雰囲気異なる場所で自身が学んできた経験があるからこそものだと思います。さらに思い返すと、NIMSインターンシップは私が研究の道へ進む転換点でした。

私のインターンシップ成功のカギは、応募の際に受入研究者と事前に情報を共有し実験計画を立てたことにあると思います。今後この制度を利用する後輩の皆様にも、ぜひしっかりした計画と共に積極的に研究に関わってもらえたらと思います。NIMSで過ごす日々は、これ以上ない有意義な時間になると私は確信しています。



SEPEHRI AMIN Hossein (磁性・スピントロニクス材料研究センターグリーン磁性材料グループ グループリーダー)

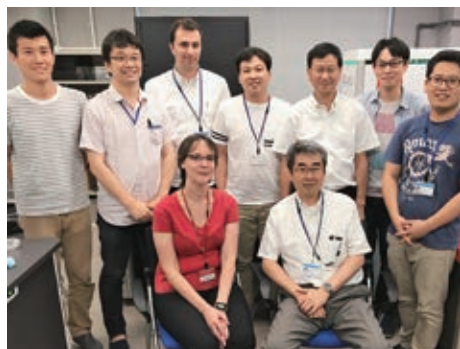


STEP1
NIMS連携大学院
NIMSジュニア研究員

STEP2
ICYS研究員*

STEP3
定年制研究職

When I started my university life, I had a dream to get PhD and be a good researcher. During my master's degree study, I have been working on two projects simultaneously and I realized beside studying the text books, it is important to be in an environment with advanced facilities enabling you to do your research as well as discussing with experienced and excellent researchers. I applied for several universities in different countries for my PhD study. At that time, I knew little about the Joint Graduate School Program of NIMS. However, this program was the only one that required me to visit Japan in person and take an entrance exam/interview. This was a great chance for me to see NIMS has not only great facilities but also excellent researchers and professors who I can daily discuss with. This visit made my mind that I want to be in this research environment which was the biggest benefit I gained from my time in the program. At the moment, my research is about the functional magnetic materials. During my stay in NIMS, my research has expanded to several topics related to the magnetic and spintronics materials, micromagnetic simulations, and advanced multi-scale microstructure characterizations. To the students who have a dream of being a researcher, I recommend you to visit NIMS once. You will realize this is the place giving you a chance to learn a lot by working with the experts, learning about many experimental techniques, and you can carry out your innovative research.



*ICYS研究員とは、若手国際研究センター (International Center for Young Scientists) に所属し、自立した研究環境のもとで研究成果を上げキャリアアップを目指す、国際的な公募で選ばれる研究員です。

各制度のご案内

各制度の詳細は、NIMSのウェブサイトをご確認ください。

NIMS大学院プログラム



NIMSインターンシップ制度



NIMS連携大学院制度



NIMSジュニア研究員制度



国際連携大学院制度



問い合わせ先

 国立研究開発法人 物質・材料研究機構
National Institute for Materials Science

〒305-0047 茨城県つくば市千現1-2-1

E-mail: nims-graduate@nims.go.jp

2023年12月